

製品名: カルレティキュリンマウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80627**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	48kDa

抗原情報

遺伝子名	Calreticulin
別名	RO; CRT; SSA; cC1qR; FLJ26680; CALR
遺伝子 ID	811.0
SwissProt ID	P27797
免疫原	ヒトカルレティキュリンのアミノ酸 (EEEDVPGQAKDELG) に対応する合成ペプチドが KLH に結合しました。

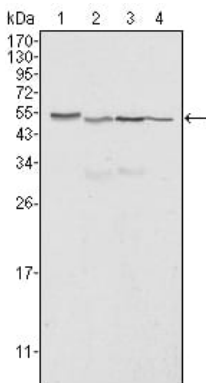
背景

カルレティキュリンは、RO、CRT、SSA、cC1qR、FLJ26680、CALR としても知られています。Entrez Protein NP_004334。これ

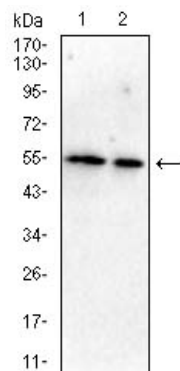
は、小胞体腔内における主要な $\text{Ca}(2+)$ 結合 (貯蔵) タンパク質として機能する多機能タンパク質です。また、核内にも存在することから、転写調節に関与している可能性が示唆されています。カルレティキュリンは、核内受容体スーパーファミリーの DNA 結合ドメインのアミノ酸配列とほぼ同一の合成ペプチド KLGFFKR に結合します。カルレティキュリンは、全身性エリテマトーデスおよびシェーグレン症候群の患者の特定の血清中の抗 Ro/SSA 抗体に結合します。種間で高度に保存されており、カルシウムと結合する可能性のある小胞体および筋小胞体に局在します。カルレティキュリンのアミノ末端はグルコシルチコイド受容体の DNA 結合ドメインと相互作用し、受容体が特異的なグルコシルチコイド応答エレメントに結合するのを阻害します。カルレティキュリンは、アンドロゲン受容体とそのホルモン応答性 DNA エLEMENTとの結合を阻害し、生体内でのアンドロゲン受容体およびレチノイン酸受容体の転写活性、ならびにレチノイン酸誘導性神経分化を阻害することができます。このように、カルレティキュリンは、核内ホルモン受容体による遺伝子転写制御の重要な調節因子として作用します。全身性エリテマトーデスは、カルレティキュリンに対する自己抗体価の上昇と関連していますが、カルレティキュリンは Ro/SS-A 抗原ではありません。以前の論文では、カルレティキュリンを Ro/SS-A 抗原と呼んでいましたが、これは後に反証されました。IgG クラスおよび IgM クラスの完全先天性心ブロックを有する乳児では、ヒトカルレティキュリンに対する自己抗体価の上昇が認められます。

研究分野

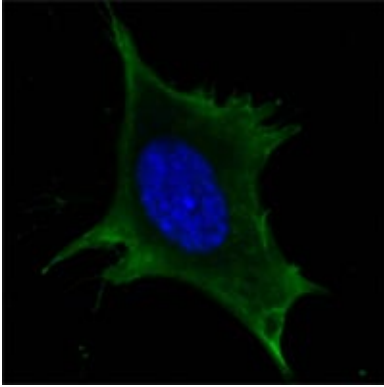
画像データ



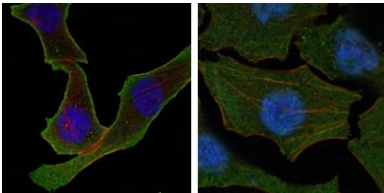
HeLa (1)、A549 (2)、NTERA2 (3)、MCF-7 (4) 細胞溶解物に対するカルレティキュリンマウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



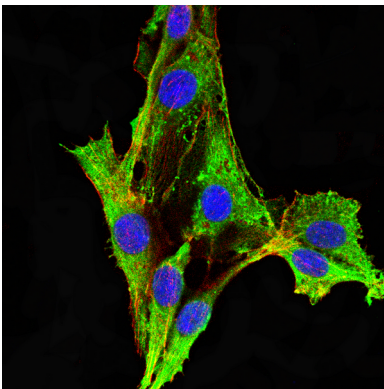
HeLa(1) MCF-7(2)細胞溶解物に対するカルレティキュリンマウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



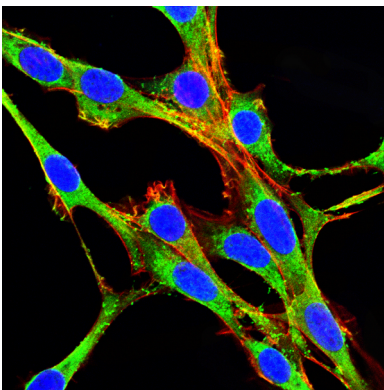
カルレティキュリンマウス mAb (緑) を用いた 3T3-L1 細胞の共焦点免疫蛍光染色。
青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



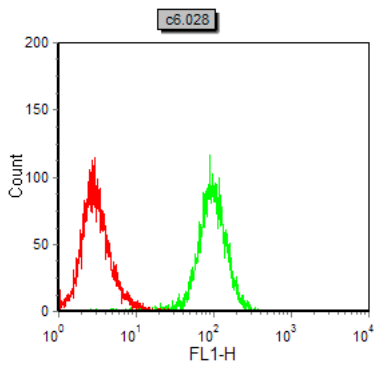
カルレティキュリンマウス mAb (緑) を用いた SKBR-3 細胞 (左) および A549 細胞
(右) の共焦点免疫蛍光染色。赤: DY-554 ファロイジンで標識されたアクチンフィラ
メント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



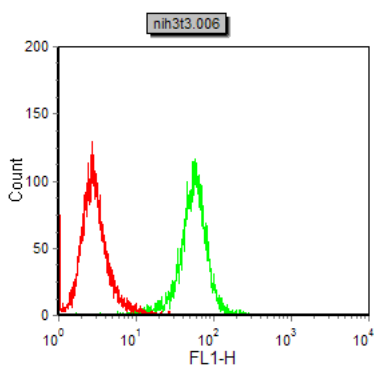
カルレティキュリンマウス mAb (緑) を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。青:
DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィ
ラメント。



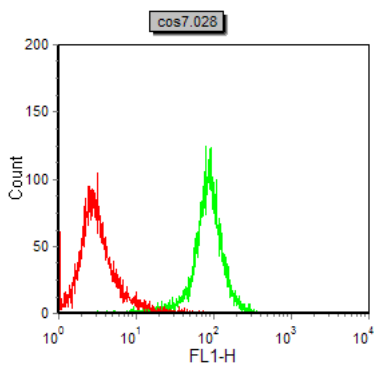
カルレティキュリンマウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青:
DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィ
ラメント。



カルレティキュリン マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した C6 細胞のフローサイトメトリー分析。



カルレティキュリン マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



カルレティキュリンマウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した COS7 細胞のフローサイトメトリー分析。